

調布市 次期環境基本計画・地球温暖化対策実行計画
策定に向けたワークショップ 第1回
開催報告

1. 開催概要

- 日時 令和7年6月15日（日）14:00～16:00
- 場所 調布市教育会館 301～302 研修室
- 参加人数 市民：21名（一般申込：9名，調布市環境保全審議会委員：3名，
ちょうふ環境市民会議会員：9名），
- テーマ 調布市の環境の良いところ・改善したいところ
- 目的 調布市の環境の良いところ，改善すべきところを話し合い，今後の取組の方向性と
具体的な取組についてのアイデアを把握する。

2. 当日の進行

時 間	項 目	内 容
14:00 ～14:05 (5分)	開 会	● 開会 ● あいさつ ● 本日の流れ説明
14:05 ～14:30 (25分)	説 明	● 調布市の環境の現状
14:30 ～15:45 (75分)	グループ討議	● 進め方・ワークショップのマナー等説明 ● テーマ： 「調布市の環境の良いところ・改善したいところ」
15:45 ～15:55 (10分)	シェアと ふり返し	● テーブルごとに発表 (3テーブル×3分程度) ● まとめ
15:55 ～16:00 (5分)	閉 会	● 総括 ● 連絡事項 ● 閉会あいさつ

3. 出された意見等

■全グループの意見の要約

分野	意 見
1. 脱炭素 社会	● 駅近の施設が多く、車がなくても暮らしやすい ● 太陽光発電について、少ない初期投資で導入する方法や信頼できる業者や製品、リサイクルの情報を知りたい ● 駅前広場など都市部で緑を増やし、雨水浸透とヒートアイランドを緩和してほしい ● 落ち葉やバイオ炭で炭素を土壌固定してほしい ● 公共施設・団地改修時に脱炭素モデルを示してほしい ● ゼロカーボン目標の進捗を可視化し周知してほしい ● 大型SUV増加やプラスチックごみを抑制してほしい
2. 循環型 社会	● ごみの個別回収や小型家電回収ボックスが便利 ● コンポストを使うと臭いもなくごみが土に戻る体験が好評 ● 生ごみ・落ち葉の堆肥化やコンポスト設置を市全体で推進してほしい ● ペットボトル削減とマイボトル給水スポットを増やしてほしい ● フードドライブの推進と不用品寄付の仕組みを作してほしい ● 人工芝からのマイクロプラスチック流出を防いでほしい ● 海ごみ・河川ごみ問題を学ぶ講座や清掃活動を開催してほしい ● ごみ分別徹底とカラス被害対策を強化してほしい ● 雨水浸透舗装で都市型水害を減らしてほしい ● 自然素材（備長炭等）による飲料水浄化を推進してほしい
3. 水と緑・ 生き物	● 多摩川・野川など水辺が近く、生物多様性が高い ● 深大寺の森や里山的景観が残り、景観に癒しを感じる住民が多い ● 団地間緑地や樹林保全の仕組みが機能している ● 既存のみどりを保全してほしい ● 学校・公共施設で落葉樹を積極的に植えてほしい ● 農地・田んぼを保全し都市農業を支援してほしい ● 公園や市有地を雑木林化し生物多様性を高めてほしい ● 子どもの自然体験など環境教育を充実してほしい ● 多摩川に自然な岸辺を整備してほしい ● 樹木評価ツール（i-Tree）で価値を可視化してほしい ● 水質改善と農薬削減で安全な水環境を確保してほしい

分野	意 見
4. 周辺の 生活環境	● 都心に近い割に田畑や公園など緑が多い ● 高層ビルが少なくビル風が起きにくい ● 駅前や住宅地で緑・公園が不足しているので増やしてほしい ● 都市化で農業がしづらくなっている一方、農地・水田を守ってほしいという声がある ● PFAS 等有害物質のリスクと対策を分かりやすく発信してほしい ● 道路計画や建物高さが日照・環境に配慮されていない ● 地域猫を守ってほしい ● 専門知識を持つ行政職員・体制を強化してほしい ● 公共空間を活用したフリーマーケット等を増やしてほしい
5. 連携・ 環境活動	● 環境関連イベントが多く、子どもの参加も盛んである ● 農地保全に取り組む団体が存在 ● 「自然は楽しい」と感じられる仕組みづくりへの期待 ● 市の環境施策・イベントの情報発信を強化してほしい ● 大人や若者が参加しやすい自然・緑イベントを増やしてほしい ● 年間を通じた環境講座やエコスクールを充実してほしい ● 市役所内の縦割りを解消してほしい ● 環境に関心の低い層・自治会へのアプローチを強化してほしい ● 農家を支援してほしい ● 多様な人々とコミュニケーションができる場がほしい

※各グループから出された全ての意見は、巻末の資料編に掲載。

4. 当日の状況



開会のあいさつ



説明（調布市の環境の現状）



グループ討議



グループ討議



グループ討議



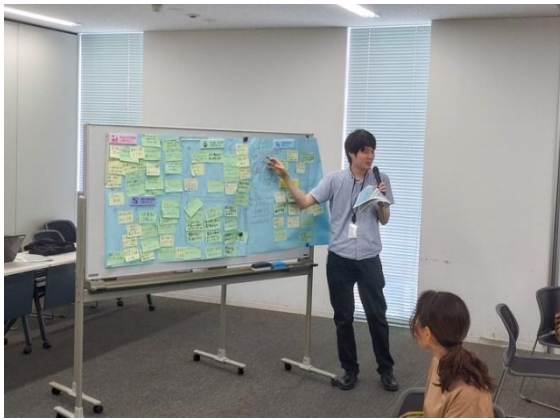
グループ討議



グループ討議



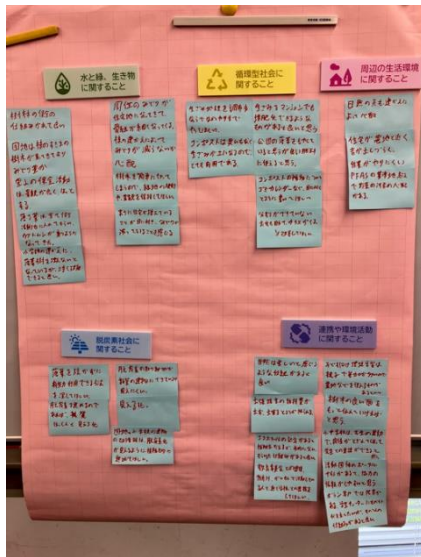
グループ討議



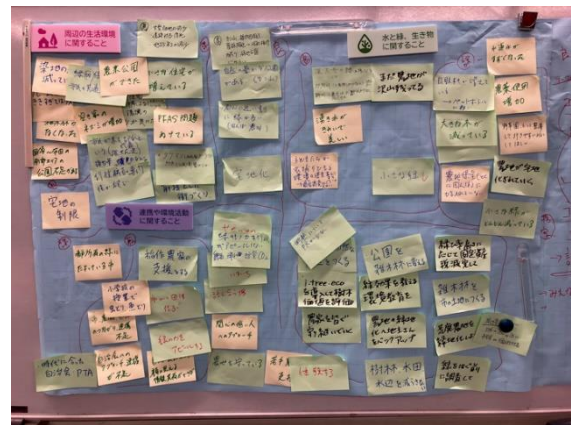
発表



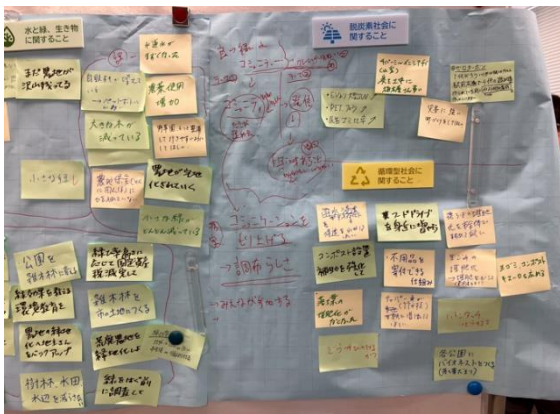
成果 (Aグループ)



成果 (Bグループ)



成果 (Cグループ)



成果 (Cグループ)

5. 出された意見のまとめと新計画への対応

■意見の総括

- ①調布市の自然環境，特に調布市が保全に力を入れてきた水や緑の満足度は高い。
→ 調布市の自然は，市民にとって「調布市の財産」。
 - ②調布市は環境に関する取組を積極的に行っているが，見える化ができていない。
→ 見せ方，伝え方の工夫が必要。
 - ③若い世代を中心にさらなる市民参加が必要。
→ 市民との協働の機会を増やすなど，より多くの人に参加できる環境を整える。
 - ④意見が多かったのは，緑・水，脱炭素，資源循環，参加と連携
→ 計画の基本目標において，現行計画では1つである脱炭素と資源循環を別立てとする。
- ※②，③については第2回ワークショップでのディスカッションのテーマとする。

分野別の全意見

< 1. 脱炭素社会に関すること >

グループ	良いところ	改善が必要なところ
A	● 駅から近い施設が多く、車がなくても暮らせる	● 駅前広場に緑が少ない：雨水浸透と気温低下 ● 太陽光発電の信頼できる業者を知りたい ● 太陽光発電パネルのリユース・リサイクルはどうする？ ● 太陽光発電パネルのライフサイクルアセスメントの情報を公開し、信頼できる製品を選ぶように ● 初期投資少なく設備を導入できる方法が分からない
B	● （意見等特になし）	● 落ち葉を燃やさずに、有効利用できる方法があると、脱炭素にも良いと思う。 ● 団地や小学校の改修時は、市民にも見えるような形で脱炭素化されたものにしてほしい。URなど市の管轄外のものに関しても、何かしらの連携をしてほしい。 ● 脱炭素を進めるのであれば、情報発信と数値の見える化が大切。
C	● （意見等特になし）	● EVより大型SUVが増えている ● ペットボトル、プラスチックが増えている ● 民生ごみ比率が高まっている ● 4パーミル・イニシアチブ（千葉） ● 炭を土中に ● 災害に強い町づくりをしてほしい。 ● 「ゼロカーボン」何だろうという市民へのアピール（駅前広場で子供の遊び場が作られている前にイラスト付き看板を作ったらいかが）

< 2. 循環型社会に関すること >

グループ	良いところ	改善が必要なところ
A	● ごみ：個別回収してくれる ● 小型家電回収ボックスは良い取り組み	● 食物のごみの堆肥化を進めてほしい ● エコ製品のショップや紹介イベントがあると良い ● ペットボトルを廃棄することの有料化 ● マイボトルに給水できる場所が少ない ● 飲料水の浄化に備長炭を活用 ● 駅前の映画館横の整備した所に人工芝（プラスチック）が使用されている。人工芝から流出したプラスチックの対策は取られている？ ● 海ごみと河川の関係についての勉強会、講座の開催

グループ	良いところ	改善が必要なところ
B	● コンポストを使っているが、臭いも出ないしごみが土になるので、非常にいいものである。	● ごみの分別ができていない家庭があると、カラスが来るので、改善してほしい。 ● コンポストの補助制度について知らなかったので、ごみカレンダーなど ● 生ごみの処理を、調布市ならではのやり方で処理できるフローを作してほしい。 ● 公園の落ち葉は、燃やすのではなく堆肥化できると良いと思う。 ● マンション等でも生ごみ堆肥化ができるような仕組み（共同コンポストなど）があると良いと思う。
C	● （意見等特になし）	● 雨水浸透アスファルト 透度をふやしてほしい ● コンポスト設置 補助を強化して ● 落ち葉のたい肥化がなくなった ● フードドライブを身近に増やそう ● 不用品を寄付できる仕組み ● 落ち葉のたい肥化を市全体で進めてほしい ● 生ごみのたい肥化→たい肥をどこで使用するか ● 各公園にバイオネストを作る（落ち葉だまり） ● 生ごみ、コンポスト、キエー口を広める

＜３．水と緑・生き物に関すること＞

グループ	良いところ	改善が必要なところ
A	● 樹林の保全の仕組みが合って良いと思う。 ● 団地の棟の間にも緑が育っており、豊かで良い。 ● 里山の景観が良く、見るとほっとする ● 落ち葉を樹林保全活動地の一角に貯めているが、腐葉土となってカブトムシが生育するようになった。	● 小学校の建て替え時に、現在は落葉樹を植えない計画となっていると思うが、木はなんでも落ち葉が出るので、生物多様性の観点でも落葉樹を植えることに理解が深まると良いと思う。 ● みどりが住宅地の置き換わって減ってきており寂しく感じる ● 昨今は樹木を簡単に伐採してしまうので、景観保持等の観点も持って慎重に実施してほしい。 ● 団地の棟の建て替えにより余スペースが減って緑が減らないか心配。
B	● 樹林保全の仕組み ● 団地間の緑が豊か ● 里山景観が良い ● 腐葉土でカブトムシが育つ	● 落葉樹を植える理解促進 ● 住宅地の緑が減少傾向 ● 樹木伐採を慎重に ● 建替えて緑減少を懸念

グループ	良いところ	改善が必要なところ
C	● 深大寺の緑が残っている ● 多摩川（三面張りが少ない）＝自然が多い ● 野川（最近の水枯れが少なくなってきた） ● 湧き水がきれいで美しい ● 子どもたちが虫取りできる環境保全などをする ● まだ農地が沢山残っている	● 子どもたちが虫取りできる環境保全などをする（最近商売にしている人が多い） ● 水道水がまずくなった ● 自販機が増えている→ペットボトルが多い ● 大きな木が減っている ● 緑被率が下がる ● 農地保全（特に田んぼ）に力を入れていない ● 農薬使用増加 ● 野草園もっと整備していきやすいようにしてほしい ● 農地が宅地化されていく ● 小さな緑が減っている ● 多摩川に自然な岸边をつくる ● i tree eco を導入して、樹木価値を評価 ● 農家を皆で守り、継いで行く ● 緑被率35%（高いor低い）（市全体or個人対象） ● 公園を雑木林に変える ● 緑効果を教える環境教育を ● 農地の緑地化へ地主さんをバックアップ ● 樹林、水田、水辺を減らさない ● 緑被率の高さに応じて、固定資産税減免して ● 雑木林を市の土地につくる ● 荒廃農地を緑地化しよう ● 緑をはぐ前に調査して

< 4. 周辺の生活環境に関すること >

グループ	良いところ	改善が必要なところ
A	● （意見等特になし）	● 都市景観：駅前に緑・花が少ない，公園が少ない ● 駅前でフリーマーケットができるようになるとより多くの人が活用できる
B	● （意見等特になし）	● 農家をしているが，住宅と近いので音が出しづらく，農機具を使つての作業がしにくい ● PFASの基準値超えが野菜等に影響があるのか無いのか，安全なのかを大きく情報発信してほしい。 ● 団地の建て替えやマンション等の建設により，日照の問題が心配である。

グループ	良いところ	改善が必要なところ
C	● カニ山, 植物園周辺, 崖線周辺, 多摩川, 緑地公園, ドッグラン ● 都心に近いわりに緑が多い(田んぼ, 農地) ● 自然が豊かな公園(カニ山) ● 農業公園ができた。 ● タワマンが少ない(ビル風が少ない)	● 大型田畑の減少 ● 染地の水田が減っている ● 道路計画優先 ● 地域猫の減少 ● 水田の減少 ● 市民が木を切れという ● 空き家のネズミの増加 ● 下布田の雑木林がなくなった ● 国領, 布田の南部エリアの公園不足 ● 多摩川 住宅の再開発による緑環境の減少 ● 住宅が増えている ● PFAS問題 ● 人口減少を前提とした街づくり ● 行政職員の専門職が欲しい ● 小さな住宅が増えている ● 宅地の制限

< 5. 連携や環境活動に関すること >

グループ	良いところ	改善が必要なところ
A	● イベントが多く開催されている ● 声をかけると子どもたちがイベントに参加する	● 多摩川の自然イベントは全体的に子ども向けが多い→大人(子どもと一緒に)が参加しやすいものがあると良い ● 直接話をしないと, イベント開催を知らない人が多い ● 年間を通した環境大学のような市民向けの講座をしてほしい ● 緑イベントに参加する高校生・大学生が少ない ● 若い人たちに伝えたい, 知ってほしい ● どうしたら市の取組が市民に伝わる?(市報を読んでいる割合は3割との説あり) ● 情報のある場所にたどり着けない ● 市役所内の組織の縦割りを改善してほしい
B	● (意見等特になし)	● 自然は楽しいと感じるような内容, 仕組みがあると良いと思う。 ● 小中学校との協働では, 先生の異動により関係が切れてしまう問題がある。常に学校とやり取りができる仕組みが必要。 ● 活動団体をまとめたポータルサイトのようなものがあると, 学校側も環境学習会を依頼しやすいと思う。 ● 国のエコスクール認定がまだ市内にないので, 補助金が出る点からも積極的に実施してみたいと思う。 ● 出張授業を実施するには維持費やボランティアが必要, ボランティアへの謝金などもそこまでお金がかかるものではないので, 一部負担があると実施がしやすい。

グループ	良いところ	改善が必要なところ
C	● 農地を守っている	● 市の対応がいまいち ● 話し合う場が必要 ● 関心の低い人へのアプローチ ● 稲作農家の支援を ● 市と団体を結ぶ ● 緑の力をアピールする ● 自治会が減少、顔の見える情報共有ができれば ● 都所有の緑に頼っている市 ● 市、農協、団体のつながり、連携不足 ● 自治会へのアプローチ、連携が不足 ● 緑地保全に関する市民の共通認識がない ● クレームを聞きすぎてはだめ ● 時代にあった自治会、PTA ● 断熱について、PRが少ない

参加者アンケート結果

回答数：19 票

Q 1 このワークショップを何で知りましたか？（複数回答）

項 目	回答数(n=19)
1.市報ちょうふ	9
2.調布市ホームページ	0
3.調布市公式SNS(X(旧twitter),LINE)	3
4.友人・知人から聞いた	3
5.その他	6
不明	0

○その他

・ ちょうふ環境市民会議
・ 調布市から直接 等

Q 2 このワークショップへ参加しようと思った理由は次のうちどれですか？（複数回答）

項 目	回答数(n=19)
1.日頃から環境問題に関心があった。	15
2.自分の意見やアイデアを市の計画づくりに反映できる機会だと思った。	7
3.脱炭素・ごみ削減・生物多様性など、特定のテーマに強い関心がある。	12
4.他の参加者と交流し、学び合いたかった。	6
5.仕事・学業・ボランティアなどで環境に関わる活動をしており、参考にしたかった。	10
6.市からの案内を見て興味を持った。	1
7.前回、別のイベントに参加して楽しかった／役立った経験がある。	0
8.友人・知人に誘われた、勧められた。	1
9.その他	1
不明	0

○記述回答

・ 調布市からも要請があった。

Q3 このワークショップへ参加した感想を教えてください。(単数回答)

項 目	回答数(n=19)
1.大変よかった	9
2.よかった	10
3.どちらともいえない	0
4.ややよくなかった	0
5.よくなかった	0
不明	0

○記述回答

- ・地域の皆さんと知り合えた。
- ・場違いではないか不安だったが、皆さんと同じ目線で活発に意見交換ができてよかった。「広報」の課題に関しては、行政だけでは限界があるように感じる。
- ・参加者が活発に意見を話した。
- ・ファシリテーターは外部でなく、市役所内でやった方がよいのでは？

Q4 次回のワークショップに期待することをお書きください。

○記述回答

- ・市の施策、税金の使い方を、市民のくらしをよくすることにふりむけるよう、変えるようなことができれば良いと思います。
- ・実行計画につながる議論が高まることを期待します。
- ・ワークショップでディスカッションした内容や発表を伺い、同意見だと感じました。本日の課題を踏まえて、具体的に改善する方法（方向性）を第2回で検討したいと思います。
- ・詳しい方が多く、勉強になった。
- ・市民の方のいろいろな意見を聞くことができて参考になりました。新たに、また参加していきたいと思います。
- ・行政の力だけでは限界があるのでは、と感じるところがあるので、地域に特化した民間企業やNPO 法人等の力を借りることも検討できると良い。
- ・第1回と同様にお願いいたします。
- ・農家の後継者が少なくなってきたこと。
- ・いろいろな情報が得られたので、また皆さんと会話をしたい。どう行動したら良いか？を考え、実践したい。
- ・具体的な施策提案につなげたい
- ・どのように提案ひきだすか？
- ・次回楽しみにしています。
- ・多世代、多意見の方々とまた意見を交えたい
- ・未来の前向きなテーマにつながる意見が出るようリードされますよう